



姫路ユネスコ通信

発行 姫路ユネスコ協会
会長 桑原 昭二

事務局 670-8501
姫路市教育委員会 生涯教育課内
TEL 0792-21-2782 FAX 0792-21-2794

新出発にあたり

会長 桑原 昭二



5月23日、設立総会も盛会裡に終わりました。日本ユネスコ連盟より田川理事、堀川市長代理として高岡教育長、姫路独協大学学長、発会まで色々ご指導いただいた芦屋ユネスコ協会の広瀬会長他、新会員の皆様、約100名の参加で船出をしました。5月31日には日本ユネスコ協会連盟の中央委員会で加盟が決定し、晴れて第一歩を踏み出しました。忙しい中を姫路ユネスコ協会に応援をいただいた姫路市教育委員会生涯学習課の皆さんにも厚く御礼を申し上げます。又、多くの方々のご支援を得ていることを忘れないで頑張ってください。

これからは、いよいよ実践です。今一度『ユネスコ精神』をふり返し、覚悟を新たにじっくりと取り組んでゆくことが必要です。

日本ユネスコ協会連盟では以下の事柄に重点をおいています。

1. 識字教育として『世界寺子屋運動』の支援。
2. 『世界文化遺産条約』の広報。
3. 青少年の育成活動（全国高校ユネスコ研究大会、こどもキャンプ）

我々はどこまで頑張れるか、会員拡大も必要でしょう。運営基盤の確立も重要です。じっくりと大地に根をおろし、大きく成長しようではありませんか。



ご来賓と役員さん



総会ご参加の皆様

総会点描

ご来賓



講師 田川 清 氏



書き損じはがきを集めています



広瀬 忠子 氏



事業計画

・全体

1. 設立総会
平成14年5月23日（木）午後2時より
姫路市役所10F大会議室
2. 研修会・講演会
本年は4回の予定
3. 研修旅行
秋に行う
4. 理事会
2ヶ月に1回
5. ホームページの作成・管理
<http://www2.memenet.or.jp/unesco/>

・事業委員会

事業委員会会議を必要に応じて開催する

・学生クラブ

各大学・高校にクラブ設立をはたらきかける

・その他

・事務局

1. 事務局会議（予定年12回）
2. 姫路ユネスコ協会広報誌の発行
3. 日本ユネスコ協会連盟、関連諸団体との連携・参加
4. 会員名簿の確立
5. 会員連絡網の構築
6. 各委員会に対する支援・応援業務
7. 各種事務処理・会員との通信業務
会員管理など

役員名簿

姫路城ミニガイド 1

菱の門

会長	桑原 昭二		
副会長	花尻 昱雄	位田 克己	岡田 兼明
	小国 光子	米谷 啓和	榎谷 力生
	安平 和彦		
常任理事	安積 恭子	小田三千雄	衣川 良介
	釘持公一郎	香山 宏	沢田 郁
	清水 妙子	新福 杉夫	立川 繁幸
	田隅 聖美	利安 武	八田 俊之
	三輪 光代		
理事	北村 泰生	黒田 美江子	柳谷 郁子
事務局長	花尻 昱雄	(兼務)	
事務局次長	安積 恭子	小田三千雄	沢田 郁
	立川 繁幸	三輪 光代	
会計	釘持公一郎	清水 妙子	三輪 光代
監査	有賀 顕		
顧問	堀川 和洋	姫路市長	
	高岡 保宏	姫路市教育長	
	米田 徳夫	姫路商工会議所会頭	
	鈴木 胖	姫路工業大学学長	
	木村 修三	姫路独協大学学長	
	早原 正治	姫路市国際交流協会理事長	

登閣口を真っ直ぐ入るとすぐ左に曲がります。又、すぐ右へ、こんな鍵型の細工がお城のいたるところに見うけられます。外敵の侵入を防ぐ工夫で『マス型』と呼ばれています。



大きな門が現われます。菱の門です、軒下に大きな菱の紋が取り付けられているのでこう呼ばれて、城内最大の櫓門（やぐらもん）です。『国宝姫路城』と看板が掛けられています。この左右2本の大きな柱には防護のため鉄が沢山使われています。根巻、饅頭金物、扉の八双金具、化粧鉋などです。又、階上の窓は釣鐘の形をした「火灯窓」（かとうまど）があります。これらの様式は桃山時代のもので、華麗な風格が感じられます。

菱の門を含め20の門があります。（大手門を省く）建物の形で区分すると、この櫓門・棟門（むなもん）・高麗門（こうらいもん）・埋門（うずみもん）の4種類があります。埋門の一種ですが、るノ門は穴門（あなもん）と呼ばれています。

これらの門に注目して、姫路城を見学するのも興味を呼び起こすものになります。

こんなに役立ちます

50円

ネパールでは
インドでは
カンボジアで



ノート4冊、
えんぴつが4本
教科書が4冊
えんぴつが10本



写真は菱の紋と饅頭金物です

世界寺子屋運動の推進

[寺子屋について]

「寺子屋」は、14世紀から18世紀にかけて、学識者、侍、僧侶が一般庶民の子供向けの読み書き計算を学ぶ場をひらいたのが始まりです。当時は全国各地に何万もの寺子屋が存在し、その存在は徳川時代における一般庶民の教育レベルの高さをもたらし、現代日本の教育システムの基盤となりました。

「寺子屋」には、一般庶民による草の根レベルでの活動という概念と共に、平等なパートナーの間での共に学び、発展するための協力という意味がふくまれています。日本ユネスコ協会連盟は1990年の「国際識字年」を支援し、キャンペーンを開始した時以来、近代化する過程での日本自身の経験を回顧し、「寺子屋」を用いています。「寺子屋」を英語では「コミュニティ・ラーニング・センター」と呼んでいます。

勉強したくてもできない世界の友だちのために、みなさんも協力をお願いします。

書きそんじハガキを あつめて送ろう!

○名刺や封筒を書きそんじハガキに ○よこ紙の紙、縦横に折ってハガキに ○紙のなかの古いハガキなど使っていない「写紙ハガキ」や「官製ハガキ」を、お送りください。

書きそんじハガキ1枚分(45円)で買えるもの。



書き損じ葉書回収箱と一円玉募金箱を準備しています。設置にご協力頂ける方は紹介者又は会計清水までご連絡ください。TEL 0792-53-2588
なお募金箱の回収時期・回収場所については姫路ユネスコ通信でお知らせします。

あなたも是非、姫路ユネスコ協会にご参加ください!

第58回日本ユネスコ運動全国大会

副会長 花尻 昱雄



全国大会が神戸新聞松方ホールにおいて6月1日、2日と開催されました。テーマはユネスコの使命、教育、科学、文化を通した平和の構築です。今回は日韓国際会議をかねていました。

大会に先立って5月31日開催された中央委員会において当姫路ユネスコ協会が認証を受け、桑原会長が出席して謝辞を述べました。大会第1日目は開会式において、外務大臣、文部科学大臣、県知事に続いて韓国ユネスコ連盟会長が挨拶に立たれ、近くて遠い国が隣の気安い国へユネスコ運動を通じてさらに高まることへの期待がしめされました。続いて米沢富美子氏、慶應義塾大学教授、元日本物理学会会長の科学と人間をテーマの講演があり、過去科学が人間の幸福を支えてきたことや将来、科学が平均寿命を140才まで伸ばす可能性があるなどのお話に会場が一瞬大きくどよめきました。

次に韓国民族舞踊、伝統舞踊が優雅にまた力強く披露され会場が華やかな雰囲気包まれる中で、10年連続で学びと発見をテーマとして交流を続けている山口県連絡協議会の事例発表がなされ、一昨年だったかあるお寺で母不敬と書いてあるのを母を敬わずとは先祖、老人を大切にす国だと聞いていたのに変だなあと思いつつ確かめずに帰国した。最近教わったところ、敬せざるこなかれと読み他人と接するに他人を尊重するとゆう意味だったとか、おそれずその時に聞いておくべきだったと反省しておられる姿勢、まだまだ率直になりきれないことを残念がっておられるところが印象的でありました。

次に、たった今、関空に着いたばかりのアフガニスタンの教育省の方々が紹介されカブール大学のサフィ教授が東西文明の十字路口に位置する我が国は昨年のタリバン掃討作戦で徹底的に破壊され、今やっと復興への緒についたところであり、国づくりは人づくりの信念のもと、第二次世界大戦からみごとに復興したアジアのお手本、日本に学ぶことと援助を受けたいとの思いでやってきましたのご挨拶があるなか、平山郁夫副会長が昨日、アフガニスタンの文化遺産保護会議から帰国され50万円あれば、学校が一つつくれること、今でも80パーセント以上不足している中で、イランやパキスタンに避難していた生徒達が帰国すると絶望的な状況がうまるとレポートされたとの報告があったところ、番外で芦屋の広瀬会長がマイクを持たれ参加者に翌日の募金を提案されました。が引き続きおこなわれました観光船コンチェルトのレセプションで急遽いまそやるうと当協会の桑原、花尻、新福、小田の4名が広瀬会長と一緒に船の降り口に立ちおこなった結果43万円余の浄財が集まり、早速お役に立てました。

第2日目はユネスコ運動の柱となるテーマや協会運営についての分科会がおこなわれ、会長が世界遺産保護活動、花尻が協会運営の会に参加し学習しました。今後の運動に活かしたいと考えております。以上、初めてということもありますが、大変有意義な2日間であったことをご報告致します。

ちなみに来年の大会は札幌で5月24日25日に開催されます。多数ご参加ください。

姫路城へ

バスで来られた方々の記念写真



第58回日本ユネスコ運動全国大会の参加者のうちバス1台で来られた数十名と北海道からのメンバーが丁度午後2:00に大手門で待ちうける桑原会長夫妻のもとに集まりました。

本日の案内役は当協会常任理事で元姫路城管理事務所長の香山宏です。地元で城を持つ、例えば丸亀の会員、なども数多くおられ、質問が頻発します。

『なぜ白鷺(しらさぎ)の城と言うのですか?』『菱の門の名前の由来は?』等々。丁寧な香山様の案内と質問責めに予定の時間が過ぎてしまい。もう少し時間があればよかったと思いました。

案内役の香山常任理事



アフガニスタンの子供達に学校を!

設立総会の翌日、豊岡方面で仕事のあった私は、その帰路に国道312号線から西へ少し入った竹田城を訪れることにしました。くねくねと曲がった細い急坂の山道は下から見ていた以上に高く上ってゆきます。急に眼前に開けたスペースは駐車場でした。

左、近道。右、遊歩道。こんな看板を見て近道を選びましたが、あまりにきつい上り坂に閉口し、ふきだす汗をぬぐい立ち止まり、又、立ち止まりながら上を目指しました。緑の木立を抜けた時『こんにちは』二人の女子高生？に声を掛けられました。彼女たちは石垣のそばの木陰で談笑していたのです。突然のことに驚きながら前を見ると谷の向こうに北千畳が開けていました。花屋敷郭のそばまで登って来ていたのです。

さわやかな風が吹き抜けています。石垣をぐるっと回り、石段を登ると本丸。木製の太いはしがが掛けられた天守台（標高350m）からは南北に流れる円山川、それに注ぐ二つの川筋が見えます。ここは交通の要衝、街道を見張る場所だったのです。

ホームページ（<http://www.town.wadayama.hyogo.jp/homepage/takeda/takeda.html>）には概略が以下のように記されていました。

天守台を中央に、南千畳、北千畳、花屋敷が放射状に配され、その姿は、虎が臥せているようにも見えることから、別名「虎臥城」（とらふすじょう・こがじょう）とも呼ばれています。

山の地形を巧みに活用し防御に対する配慮の綿密さなどから考えると、よほど堪能な人の手による構築といえます。縄張りの規模は南北400メートル、東西100メートル、完存する遺構としては、全国屈指のもので、国史跡に指定されています。



皆様も『ぶらり紀行』にどしどしご投稿ください。

行事予定 & 事務局 NEWS

姫路城を知る研修会 / 現地を見ながら学ぼう！

第一回 9月13日（金）13：00～17：00

集合：姫路城登閣口 12：50

講師：香山 宏氏 姫路ユネスコ協会 常任理事

テキスト：姫路城ガイドブック（姫路鷺城ライオンズクラブ 発行）

申込数：先着80名 テキスト必要 1冊500円です。

テキストの必要な方は申込時にお申し出ください。

申込締切：9月6日（金）申込先は下記へ

第二回 9月20日（金）13：00～17：00

テキストに載っていないお話！

申込締切：9月13日（金）申込先は下記へ

研修旅行（岡山方面）

日時：11月27日（水）9：00～17：00 の予定

行先：備中松山城・井山宝福寺（雪舟ゆかりの寺）

成羽町美術館（児島虎次郎美術館）など

参加費用：約5千円（バス代人数割り）

入館料・昼食費 各自負担

予定人数：40人

申込締切：10月25日（金）申込先は下記へ

申込先：

FAX 0792-81-2371 新福杉夫（文化遺産研修委員会）

メールでも受け付けします。 ryou@memenet.or.jp



編集後記

第1号を無事作成できて、ご協力頂いた方々に感謝いたします。年間3～4回の発行を計画しています。

どしどしご投稿ください。

広報委員会のメンバーは以下です。

衣川 良介

安積 恭子

三輪 光子

ホームページが出来上がりました。

アドレスは以下です。皆さん見て下さい。

[Http://www2.memenet.or.jp/unesco/](http://www2.memenet.or.jp/unesco/)

ホームページや広報紙に対するご意見やご投稿は以下のメールアドレスをお願いします。

ryou@memenet.or.jp

<http://www2.memenet.or.jp/unesco/>